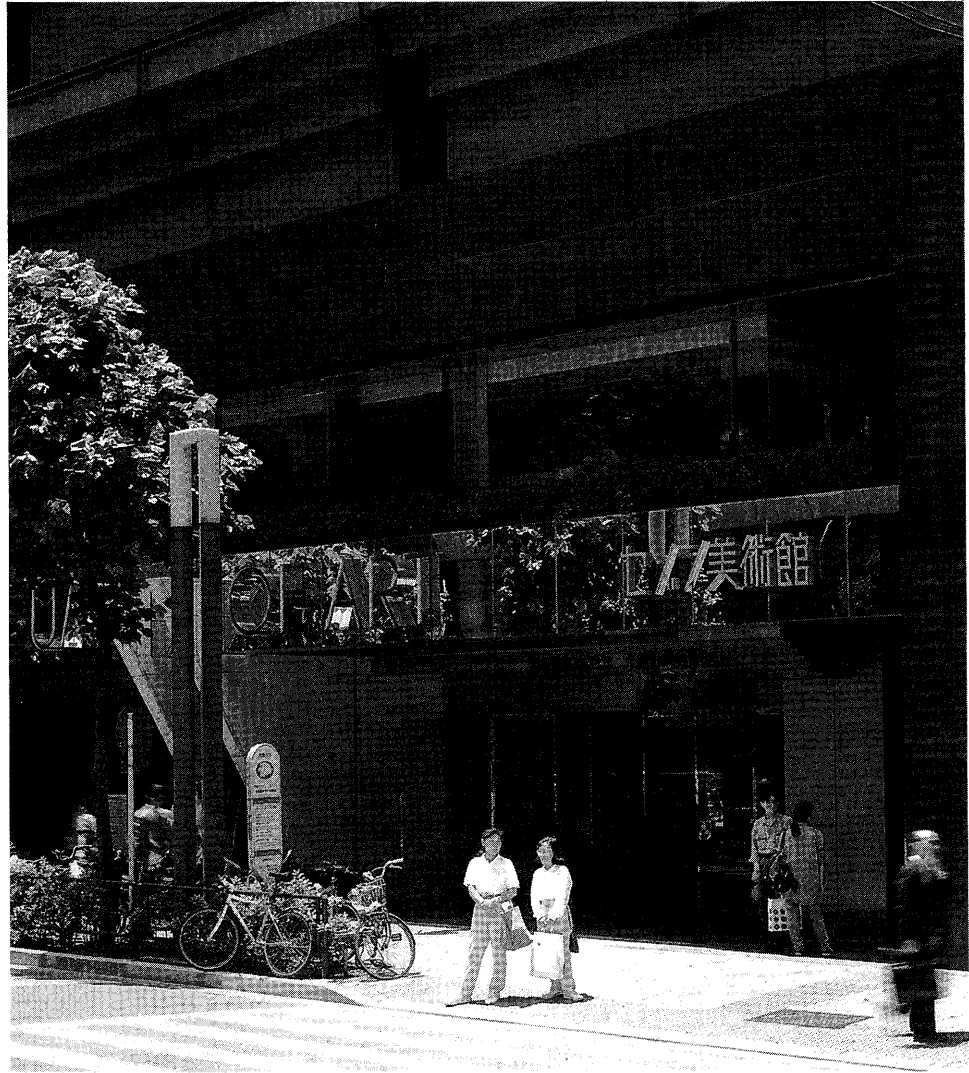


## セゾン美術館

所在地：東京都豊島区南池袋1-28-1

設置：株式会社西武百貨店池袋店

運営：株式会社西友



### ■館の概要

1975年に西武美術館として開館、1989年に現名称に変更された。収蔵品を持たない美術館として東西の著名作家の作品展、現代美術に関わる企画展示などを行っている。西武百貨店池袋店、カルチャーセンター、書店などに隣接しており、来館者の層は幅広い。公立美術館と異なり啓発といった機能は持たないが、ギャラリートークなどを通じて「一緒に考える」ということに力点をおいた活動を行っている。友の会「SMAメンバーシップ」は1,800人を有し、「スマ・インフォメーション」「アイザイ」「セゾン美術館 BIENNIALREVIEW」などの情報誌を発行している。

### ■情報システムの概要

#### 1. 展示に関する参考情報の提供システム

収蔵品を持たない美術館であることから、収蔵品管理システムなどを必要としない本館

では、ハイビジョンを用いた展示に関する参考情報の提供システムを利用し、来館者への情報提供を行っている。同システムは企画展の内容を伝えることを目的としたシステムで、企画展に先だって展示内容の予告を画像情報として写しだすもの。そのほか、ハイビジョンミュージアムのソフトを展示している。

同館では、ソフト開発をメーカー、出版社などと共同で行っており学芸員がソフト制作に関わっている。

## 2. 作品のデータベース化について

作品のデータベース化について館職員（事務局長）は次のように述べている。

「企画展ごとに作成している図録に用いた写真（ポジ原版）をデジタル化し、データベースを構築したい意向とのことであるが、著作権の問題をクリアすることが難しくできない。また、企画展の場合、貸与者（団体）が様々なため、全員の承諾をとるのが非常に難しいという問題点がある。セゾン美術館は、公立美術館と違って啓蒙型ではなく、地域の人々に心の豊かさを提供していきたい。その際、鑑賞者にどう見せていくかが課題である。その方法として考えているのが鑑賞ガイド的なデータベース。たとえば、カンディンスキーの作品そのものは画像化できなくても、その住環境や作品制作の背景などが検索できるデータベースがつくれなかと考えている。

また、日本では映像や美術作品などのアーカイブに対して国としての取り組みが遅れているが、データベースをどのような目的で作成するのかに対する基本的な考え方が十分に議論されていない。

作品をインターネットなどを通じて提供していくことについて、「現在の日本では、著作権の問題から欧米の美術館のように、作品を画像にすることが現状では困難である。日本の美術館では今、文字情報を中心に、インターネットで情報提供しているが、本館としては情報としての美術（作品）であってもその作品（美術）を忠実に画像化をし、的確で正確な提供を行ってまいりたい」。

## 3. その他のシステム

パソコンを利用して財務処理、チケット管理、友の会関係の事務処理を行っている。

